The Power to Question

安全データシート

Santa Cruz Biotechnology, Inc.
改定日　12-8-2014
バージョン　1

セクション1：製品および会社情報

製品特定名

製品名	Sudan II
製品コード	SC-215923
CAS番号	3118-97-6

化学薬品の推奨用途および使用制限

調査用途のみ。　臨床及び体外診断には使用できません。

安全データシートの提供者の詳細

Santa Cruz Biotechnology, Inc.
10410 Finnell Street
Dallas, TX 75220
831.457.3800
800.457.3801
scbt@scbt.com

Santa Cruz Biotechnology (Shanghai) Co., Ltd.
Building No. 2, Lane 315, No. 1-6, Jianye Road
Pudong New District, Shanghai, 201201
Telephone: (86 21) 6093-6350
Toll Free: 800-820-8626
asia@scbio.cn
001 800-1338-3838 (Hong Kong, Singapore, Thailand, Japan, Korea)
00 800-1338-3838 (Macau, Malaysia, Indonesia)
002 800-1338-3838 (Taiwan)

緊急連絡電話番号

Chemtrec
800.424.9300 (Within USA)
703.527.3887 (Outside USA)

セクション2：危険有害性の要約

化学物質または混合物の分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
発がん性	区分 2
特定標的臓器毒性 単回暴露）	区分 3

ラベル要素

注意喚起語
警告

危険有害性情報
H351 - 発がんのおそれの疑い
H315 - 皮膚刺激
H319 - 強い眼刺激
呼吸器刺激を引き起こすおそれがある。眠気またはめまいを引き起こすおそれがある

シンボル/絵表示

注意書き - 予防
使用前に取扱説明書を入手すること
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
指定された個人保護具を使用すること
取り扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること

注意書き - 対応
眼に入った場合 :水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
眼の刺激が続く場合 :医師の診断/手当てを受けること
皮膚に付着した場合 :多量の水と石鹸で洗うこと
皮膚刺激が生じた場合 :医師の診断/手当てを受けること
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
吸入した場合 :空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

注意書き - 保管
施錠して保管すること
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

注意書き - 廃棄
内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

その他の情報

他に分類できない危険有害性 (HNOC) 該当せず

セクション3：組成および成分情報

分子量 276.33
処方 $C_{18}H_{16}N_2O$

CAS番号 3118-97-6

化学物質名	CAS番号	重量%	ENCS	ISHL番号
Sudan II	3118-97-6	100	X	

セクション4：応急処置

一般的なアドバイス　症状が続く場合には、医師に連絡すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。

吸入した場合　空気の新鮮な場所に移すこと。 医師に連絡すること。 呼吸が不規則になった場合または停止した場合には、人工呼吸を施すこと。 皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。 人工呼吸および/または酸素が必要なこともある。 直ちに医師の手当てを受ける必要はない。 事故により蒸気を吸入した場合には、空気の新鮮な場所に移すこと。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚接触　必要に応じて医師の診断を受けること。 汚染された衣服と靴を脱ぎ、直ちに石鹸と多量の水で洗い流すこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 直ちに多量の水で洗い流すこと。 炎症が続く場合は、医師に連絡すること。 直ちに医師の手当てを受ける必要はない。

眼との接触　直ちに多量の水で洗浄する。最初の洗浄後、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分間は洗浄しつづけること。 洗っている間、目を大きく開くこと。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。

経口摂取　口をすすぐこと。 多量の水を飲むこと。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。 無理に吐かせないこと。 水で口内をすすいだ後、多量の水を飲むこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 医師に連絡すること。

応急処置を行う者本人の保護　指定された個人保護具を使用すること。

医師に対する注意事項　症状に応じて治療すること。

セクション5：火災時の措置

適切な消火剤　現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤　利用可能な情報はない。

化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性　利用可能な情報はない。

危険有害性燃焼生成物　二酸化炭素。 窒素酸化物 (NOx)。

消火を行う者のための特別な保護具　指定された個人保護具を使用すること。 消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

セクション6：漏出時の措置

個人に対する注意事項　指定された個人保護具を使用すること。 人員を安全な区域に避難させること。 人員を漏出/流出物から遠ざけ、風上に退避させること。

環境に対する注意事項　水路、下水道、地下室または締めきった場所への侵入を防止すること。 地上水または下水施設に流さないこと。 安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。 製品が排水路に入らないようにすること。 環境毒性の詳細情報についてはセクション12を参照のこと。

封じ込め方法　安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。

浄化方法　指定された個人保護具を使用すること。 粉末状の漏出物をプラスチックシートまたは防水シートで覆い、拡散を最小限にすると共に粉末を乾燥状態に維持する。 機械的にすくい取り、適切な容器に収容して廃棄すること。 粉塵の発生を避けること。 汚染された表面を十分に浄化すること。 不活性吸収剤で吸収すること。 防流堤を築いてせき止めること。 回収して適切に表示された容器に移すこと。 ほうきで集め、シャベルで適切な容器に入れて廃棄すること。 浄化後、痕跡を水で洗い流すこと。 静電気に対する予防措置を講ずる。

セクション7：取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

安全取扱注意事項	皮膚、眼または衣類との接触を避けること。 指定された個人保護具を使用すること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 局所排気換気装置を併用すること。

保管

保管条件	容器を密封して換気のよい場所に保管すること。 子供の手の届かない場所に保管する。 容器を密閉して涼しく換気のよい場所に保管すること。 適切な表示のある容器に保管すること。
混触危険物質	提供された情報からは未知。

セクション8：暴露防止および個人保護措置

管理パラメーター

暴露ガイドライン	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない

適切な設備対策

技術的対策	シャワー 洗眼ステーション 換気システム。

個人用保護具 (PPE)

呼吸用保護具	通常の使用条件下では保護具は必要ない。暴露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護	長期にわたる、または反復した皮膚との接触が起こるおそれのある作業の場合は、不浸透性手袋を着用しなければならない。 手袋の材質の破過時間を超過していないか確認すること。 特定の手袋の破過時間については手袋の製造業者に照会すること。
眼/顔面の保護	密封性の高い安全ゴーグル。 顔面保護シールド。
皮膚および身体の保護	適切な保護衣。 エプロン。 プラスチックまたはゴム製の手袋。
一般的な衛生注意事項	取扱中は飲食禁止および禁煙。 機器、作業区域および衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。

セクション9：物理的及び化学的特性

物理的状態	固体
外観	粉体
臭い	無臭

特性	値
pH	利用可能な情報はない
融点/凝固点	156 °C
沸点	476.7 °C
引火点	315.5 °C
密度	1.1 g/cm³
蒸発速度	利用可能な情報はない
引火上限	利用可能な情報はない
燃焼の下限	利用可能な情報はない
蒸気圧	利用可能な情報はない
蒸気密度	利用可能な情報はない
比重	利用可能な情報はない
水への溶解度	利用可能な情報はない
他の溶剤への溶解度	利用可能な情報はない
分配係数	6.60
自然発火温度	利用可能な情報はない
分解温度	利用可能な情報はない
動粘性率	利用可能な情報はない
爆発性	利用可能な情報はない
酸化特性	利用可能な情報はない

セクション10：安定性及び反応性

反応性	該当せず。
化学的安定性	推奨される保管条件下で安定。
機械的衝撃に対する感度	データなし。
静電放電に対する感度	データなし。
危険有害性反応の可能性	通常のプロセスではない。
危険有害性な重合	利用可能な情報はない。
避けるべき条件	極度の温度と直射日光。
混触危険物質	強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	二酸化炭素。 窒素酸化物 (NOx)。

セクション11：有害性情報

急性毒性
毒性の数値尺度 - 製品情報
混合物の 0パーセントは未知の毒性を持つ成分で構成されている

短期的及び長期的暴露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	利用可能な情報はない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	利用可能な情報はない。
感作	利用可能な情報はない。
生殖細胞変異原性	利用可能な情報はない。
発がん性	下の表は各機関がいずれかの成分を発がん性としてリストアップしているかを示す。

化学物質名	日本	IARC
Sudan II 3118-97-6		Group 3

IARC (国際癌研究機関)
ヒト発がん性物質として分類できない

生殖毒性	利用可能な情報はない。
STOT - 単回暴露	利用可能な情報はない。
STOT - 反復暴露	利用可能な情報はない。
吸引性呼吸器有害性	利用可能な情報はない。

セクション12 環境影響情報

生態毒性
混合物の 100%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている

残留性・分解性	利用可能な情報はない。
生物蓄積	利用可能な情報はない。
移動性	利用可能な情報はない。

セクション13：廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物	廃棄は、適用される地方、国、地域の法律および規制に従って行う必要がある。
汚染された梱包	容器を再利用してはならない。

セクション14：輸送上の注意

	RID / ADR	IMDG	ICAO (空気) / IATA
UN/ID番号	規制対象外	規制対象外	規制対象外
正式輸送品目名	規制対象外	規制対象外	規制対象外

危険有害性クラス	規制対象外	規制対象外	規制対象外
補助的な危険有害性クラス / ラベル	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない
容器等級	規制対象外	規制対象外	規制対象外
環境危険有害性	該当せず	- 該当せず	該当せず
特別条項	なし	なし	なし

セクション15：適用法令

国際インベントリー

製品中の全ての成分は、以下のインベントリーリストに記載されている
TSCA （米国），カナダ （DSL/NDSL），欧州 （EINECS/ELINCS/NLP），オーストラリア （AICS），韓国 （KECL）:，中国 （IECSC），ENCS （日本）:，フィリピン （PICCS）。

化学物質名	ENCS	EINECS/ELINCS	KECL	IECSC	PICCS	AICS	TSCA	DSL/NDSL
Sudan II	X	X	X	X	X	X	X	X

X - 記載
ENCS - 化審法の既存・新規化学物質
KECL - 韓国既存化学物質目録
IECSC - 中国現有化学物質名録
EINECS/ELINCS - 欧州既存化学物質リスト*(EINECS)*/欧州届出化学物質リスト *(ELINCS)*
PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア既存化学物質インベントリー
TSCA - 米国有害物質規制法セクション*8(b)*、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

セクション16：その他の情報

改訂記録　　利用可能な情報はない。

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例
利用可能な情報はない

免責事項
このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009（日本）の要件に準拠している。 この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートの終端